

平成21年 2月 2日  
都市・地域整備局街路交通施設課  
道路局路政課  
鉄道局施設課

駅構内通路を利用した「開かずの踏切」対策に関する実証実験について  
～踏切の迂回路として駅構内の通路を利用して頂く実験を行います～

- 「開かずの踏切<sup>※</sup>」等における安全性の向上や交通の円滑化を図り、踏切待ちによる「イライラ感」等の不満を解消すること等を目的として、踏切利用者に既存の駅構内通路を迂回路として利用して頂き、本取組の有効性や継続的に実施した場合の課題等を把握する実証実験を行いますので、お知らせいたします。

※ 開かずの踏切：電車の運行本数が多い時間帯において、遮断時間が40分/時以上となる踏切

【背景・目的】

- 国土交通省では、「開かずの踏切」等における踏切事故や交通渋滞、市街地の分断等の解消を図るため、道路整備の一環として、連続立体交差事業等により踏切除却を行う抜本的な対策を推進しています。また、歩道拡幅や立体横断歩道橋の設置等の安全性の向上を図る緊急的な対策についても併せて推進しています。
- 今般、「開かずの踏切」等における安全性の向上や交通の円滑化を図り、踏切待ちによる「イライラ感」等の不満を解消すること等を目的として、鉄道事業者や地元自治体等の協力を得て、踏切利用者に既存の駅構内通路を迂回路として利用して頂く実証実験を行います。なお、今回は、昨年度の試行結果を踏まえ、実験箇所を増やすとともに実験期間を延長し、本取組の有効性や継続的に実施した場合の課題等についての把握を行います。

【実験内容】

- 既存の駅構内通路を踏切の迂回路として利用。駅構内を通行する際は、駅改札手前で通行券を配布して反対側の改札口で回収する方法に加え、利用者の利便性を高めるため、実験用ICカードを活用した方法<sup>※</sup>により入出場を実施。
- ※ 実験用ICカードを事前配布し、改札口に設置した専用のカードリーダーにタッチすることで通行。
- 駅構内通路利用者（駅構内通路を踏切の迂回路として利用した方）及び鉄道利用者等を対象として、アンケート調査及び歩行者交通量調査を実施し、本取組の有効性や継続的に実施した場合の課題等について整理。

【実験箇所・実験期間】

鉄道路線	実験箇所	実験対象踏切	実験期間（平日のみ）
西武鉄道 新宿線	とりつかせい 都立家政駅	都立家政第1号踏切 （開かずの踏切）	平成21年2月 9日（月） ～3月13日（金） 午後5：00～7：00
		東京都中野区鷺宮3-16	
京阪電鉄 京阪本線	ひらかたこうえん 枚方公園駅	枚方公園踏切 （開かずの踏切）	平成21年2月 9日（月） ～3月13日（金） 午前7：00～9：00
		大阪府枚方市枚方元町21-3	

（参考資料①）実験のイメージ

（参考資料②）昨年度の試行結果

<問い合わせ先>

都市・地域整備局 街路交通施設課 整備室 課長補佐 東 智徳  
 電話 03-5253-8111（内線 32852）、03-5253-8417（夜間直通）

道路局 路政課 課長補佐 間渕利明  
 電話 03-5253-8111（内線 37342）、03-5253-8479（夜間直通）

鉄道局 施設課 課長補佐 川俣裕行  
 電話 03-5253-8111（内線 40892）、03-5253-8553（夜間直通）